

「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度からの PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブが主体となりましたが、引き続きご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。PF ニュースウェブページには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞ登録下さい。PF ニュースウェブページにフォームを掲載しています（※ KEK の共同利用者支援システムでユーザー登録をされた皆様には、PF メルマガが配信され、そちらにも PF News 発行のお知らせが載りますので、その方はお知らせメールの登録は必要ありません）。

PF ニュース編集委員一同

投稿のお願い

【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞ投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は事務局または PF ニュース HP をご覧下さい。

宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所 放射光科学研究施設内
PF ニュース編集委員会事務局
TEL : 029-864-5196 FAX : 029-864-3202
E-mail : pf-news@pfqst.kek.jp
URL : <http://pfwww.kek.jp/publications/pfnews/>

編集後記

私が放射光、中性子を利用し始めて 10 年になります。材料メーカーに転職し、自分自身何も強みがないと感じ、量子ビームによる構造解析を身につけようと考えました。まず、会社でも必ず測定する X 線回折を解析するリートベルト解析に着手しました。はじめての多変数解析で習得には困難を極めました。しかし、はじめにリートベルト解析を行って正解でした。基本原理は古典論で、実験データとのフィッティングがとても良いのです。10 年ぶりに書いた論文は多くの方に引用され、海外の方と共同研究するきっかけとなりました。次に元素ごとの情報が知りたくて、XAFS を。XAFS に関してはまだまだ分からないことが多く基礎的なことを考察し、第一原理計算を駆使して解釈するなど、リートベルト解析とは違った楽しさがあります。その場観察が得意な XAFS では、無茶な実験計画を立てて、眠れない夜の連続でした。PF では 10 分毎の測定が 3 日間続き、その間眠れず 3 日目の朝には幻聴が聞こえてきました。しかし、これらの苦勞によって多くの研究者と関わって行くことが出来ました。これからは私の持っている解析技術を広め、様々な方に量子ビームを使って頂き、素晴らしさを分かって頂けたらと考えています。(T.I)

平成 28 年度 PF ニュース編集委員

委員長	足立 純一	物質構造科学研究所		
副委員長	片山 真祥	立命館大学 生命科学部		
委員	安達 成彦	物質構造科学研究所	阿達 正浩	加速器研究施設
	阿部 善也	東京理科大学理学部第一部	伊藤 孝憲	AGC セイメケミカル株式会社
	宇佐美徳子	物質構造科学研究所	大川万理生	東京理科大学理学部
	丹羽 健	名古屋大学大学院工学研究科	丹羽 尉博	物質構造科学研究所
	野澤 俊介	物質構造科学研究所	原 幸大	静岡県立大学薬学部
	兵藤 一行	物質構造科学研究所	間瀬 一彦	物質構造科学研究所
	満汐 孝治	東京理科大学理学部第二部	三輪 洋平	岐阜大学工学部
事務局	高橋 良美	物質構造科学研究所		